

職務経歴書

2025 年 5 月 16 日現在

田上宗明 (Tanoue Somei)

職務概要

2015 年 4 月に本田技研工業株式会社に入社し、生産技術関連ソフトウェアの開発を担当。要件定義～設計、実装、プロジェクト管理など幅広い工程で経験を積みました。2022 年からは Sansan 株式会社で請求書管理 SaaS の開発に従事し、機能開発・運用改善やチームマネジメント等、複数領域を横断的にリードしています。

強み・自己 PR

- ・ 企画から運用まで一貫してリードできる総合力が強みです。

企画・仕様検討・整合から実際の設計・開発・導入・運用までの一貫した経験があります。この経験により、広域的なステークホルダーとの合意形成やリーチの広い視点での統合的なプロセス改善が得意です。

- ・ ウォーターフォール・スクラム・カンバンなど多様な開発手法を現場で導入・実践・定着させてきました。

ウォーターフォールでは標準プロセス・ドキュメントの策定、スクラム・カンバンは組織への導入・展開と改善をリードしてきました。

- ・ 仮説検証型の課題解決とステークホルダーを巻き込む力に自信があります。

「2Way 意思決定」や「助言プロセス」など、多様な視点と合意形成を重視し、変化への適応・カイゼンを推進します。[事例記事](#)

- ・ プロジェクト／チームマネジメント経験が豊富です（最大 6 名規模）。

進捗管理・合意形成・スコープ/品質管理に加え、リーダーシップとサーバントリーダーシップを場面に応じて使い分け、チームの成長と事業要請のバランスを取ってきました。

技術スキル

- 主な開発言語 (直近で触れた順) : Kotlin (2.5 年)、TypeScript・React (3 年)、C# (3.5 年)、Python (3 年)、
- 経験が古い・少ない言語: Java、JavaScript、Go、C、アセンブラ、VB.NET、C++
- DB: PostgreSQL (3 年)、SQL Server (2 年)
- その他: Google Cloud (2.5 年)、Github Actions (2 年)、AWS (4 ヶ月)

主なプロジェクト

逆編年体式 & 抜粋

Sansan 株式会社

2022 年 9 月～現在

請求書原本取り出し機能の開発

- 概要: 請求書管理 SaaS における請求書原本をユーザーが任意に取り出せる機能の開発
- 期間: 2024 年 9 月～2024 年 12 月
- 規模: 6 名
- 役割: チームマネージャー、開発者
- 技術: Kotlin、React、PostgreSQL

【業務内容】

プロセス改善 * 設計リード * 機能スコープ優先順位判断 & 削減 * チームメンバーの成長支援

【実績・取り組み】

推進における課題として、① 事業的に期日の守りきりがマストでかつ短納期 ② メンバーがジュニアメイン ③ 社内別システムとの連携 & 物理的な物質の管理が必要で状態管理が複雑、というものがあった。ステークホルダーを巻き込んだプロジェクトマネジメントプロセスの改善（タスク状態の透明性向上）・状態不整合のリスク低減を目的として状態管理を簡素化する方向の設計見直しのリード・機能スコープの削減などを推進し、遅延や不具合ゼロでリリース。

運用改善プロジェクト

- 概要: エンジニアの運用対応工数を削減する期限付きプロジェクト
- 期間: 2023 年 12 月 ~ 2024 年 8 月
- 規模: 9 名 (エンジニア 3~4 名、ステークホルダー 5 名)
- 役割: 立ち上げメンバー、改善実推進のリード
- 技術: Kotlin、React、PostgreSQL、Go、GoogleAppScript

【業務内容】

- プロジェクト & チームの立ち上げ提案・メンバー選定・方針とりまとめ - ステークホルダーとの意見取りまとめ・合意形成 - 運用改善施策の調査・提案・実施

【実績・取り組み】

運用負荷の高さへの組織的な不満の高まりを受けてプロジェクトを立ち上げた。その際、迅速で大胆な意思決定を行える座組 & 意思決定方針を策定。推進においては、ステークホルダー間のコミュニケーションパス & 形式の改善・プロダクトの仕様改善・運用支援ソフトウェアの改善・各種ツールや仕組みによる Toil 削減、などを提案し、実現。結果として、組織全体のエンジニアの運用工数を 40% 削減した。

より詳しく知りたい場合は、詳細をまとめた[ブログ記事](#)があります。

本田技研工業株式会社

2015 年 4 月 ~ 2022 年 8 月

次世代生産管理系基幹システム開発

- 概要: 次世代生産方式の企画とそれに対応した生産管理システムの開発
- 期間: 2021 年 7 月 ~ 2022 年 8 月
- 規模: 10 名 (社員 8 名、協力 2 名)
- 役割: 企画検討メンバ、実行リーダー、開発者 → プロダクトオーナー
- 技術: AWS、TypeScript (React、AWS CDK)、Python

【業務内容】

- 生産方式検討・構想
- PoC ソフト実装リード

- ・ 後進メンバーの学習支援（5名）

【実績・取り組み】

企画においては、次世代生産方式における管理手段とその適用範囲を提言、事業本部長に承認を得た。PoC ソフト実装においては、AWS コンサル支援のもとアーキテクチャ・サービス・設計選定をリード、目標スコープ達成までの予定期間4ヶ月に対し3ヶ月で実現。

AI による外観検査の自動化

- ・ 概要: 画像クラスタリングによる外観検査の自動化
- ・ 期間: 2018 年 10 月 ~ 2020 年 10 月
- ・ 規模: 8 名（社員 5 名、協力 3 名）
- ・ 役割: アーキテクト、開発者
- ・ 技術: C#, SQL Server、Python、AI(多層パーセプトロン、One-Class SVM)、Gitea

【業務内容】

- ・ AI アルゴリズム改良
- ・ 仕様検討・整合、アーキテクチャ設計
- ・ 開発者責務全般 | 実装、テスト、プロセス改善
- ・ 外部折衝 | 期待マネジメント等

【実績・取り組み等】

AI アルゴリズムの運用性検討要員としてアサイン → アーキテクト & 実装リード → 折衝 & アドバイザー要員、と移行。アサイン後から AI アルゴリズムを学習開始し、3ヶ月で既存アルゴリズムのチューニングを行い性能向上（正答率 95% → 98%）。社内初のアジャイル開発パイロットチームの一員としてスクラムを実践。後期からは、人員都合によりスクラムの維持が難しくなるが、思考整理フレームワークやカンバンの導入により、チームが変化に適應できるように挑戦を主導。技術的には、モジュラーモノリスを採用した設計を推進しアジャイルなプロセスに適した柔軟なソフトウェア構造を実現。

AGV 本体制御システムリプレイス

- ・ 概要: 内製 AGV 本稼働後の内在不具合根治を目的とした全面リアーキテクティング

- 期間: 2017 年 11 月 ~ 2018 年 8 月
- 規模: 6 名（社員 3 名、協力 3 名）
- 役割: プロジェクトリーダー、アーキテクト
- 技術: C++

【業務内容】

- 計画立案・整合・進捗管理
- アーキテクチャ設計・詳細設計、実装、結合テスト

【実績・取り組み等】

炎上後に、リーダー兼アーキテクトとしてアサイン。場当たり的な開発で複雑化したステート管理を簡素化する、という観点で再設計 & 実装をリード。それまで社内に存在しなかったソフト仕様書のフォーマットを策定 & 提案。以後は事実上の社内標準となった。

その他の取り組み

- 社内アジャイルコーチとしてチーム状況の改善支援
- 社内コミュニケーション改善を目的とした、Slack チャンネル構造設計 & 実現や会議記録自動公開の仕組み化
- プロダクトマネージャーとエンジニアの役割固着化により社内受託的雰囲気改善を狙ったプロセス改善

資格など

- Google Cloud Professional Cloud Developer (2024/1/10、[Certificate](#))
- 日商商業簿記 3 級 (2025/4/18)
- 普通自動車免許

リンク

- [Github](#)
- [Qiita](#)
- [Speakerdeck](#)

対外発表

- ・ [エンジニア運用工数 40% 削減！Bill One における運用改善のとりくみ](#) (2024/6)
- ・ [スクラムバンのすゝめ](#) (2023/10)

学歴

期間	学校名・学部・学科等
2006 年 4 月～ 2011 年 3 月	国立熊本電波工業高等専門学校電子制御工学科
2011 年 4 月～ 2013 年 3 月	国立熊本高等専門学校専攻科制御情報システム工学専攻卒業
2013 年 4 月～ 2015 年 3 月	九州大学大学院統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻情報制御学分野